

岐阜県歴史的建築物ガイドブック・目録の製作を担当して

下川 滝美

平成27年12月、岐阜県建築指導課からの委託事業として岐阜県の歴史的建築物のガイドブックおよび目録を製作するという事で士会に依頼がありました。以前、女性委員会として町歩きや建物調査をしていたことから担当の一員に選んでいただいたのだと思います。原案を3月末にまとめて5月から実施作業です。

ガイドブック、目録についての作業内容は各圏域の建物の写真撮影、内容の確認作業でした。高野委員長に相談したところ女性委員会としてお手伝いをさせていただくことになり有志でこの作業にあたることになりました。

6月3日娘と行った谷汲山をはじめとし高野さんとは西濃地域、郡上から関と二日間調査をしました。西濃地域ではHPに掲載されていた建物の周りの風景を頼りに建物を探していたら土地改良でまったく違った風景になっていたり、高齢者の一人暮らしなどで建物の存続が難しくなっているものなどもあり歴史的建築物を維持していくことは大変なことなのだ改めて感じました。

郡上では社会見学の中学生や外国人の観光客が多く、目的の写真撮るのに苦労したことが思い出されます。

岐阜地域は地元に住んでおられる小林さんの案内で津川さんと3人で建物を見て回りました。以前女性委員会で歩いた町並みですが解説を聞きながらおしゃべりな古い建物を改装したカフェでお茶を飲み楽しいひと時でした。

東濃地域は長瀬さんと桂川さんと一緒に回りました。

私は最寄の駅まで電車で行きそこから合流です。

多治見駅からスタートをしました。

桂川さんは大学時代に研究室でも建物調査をしていたということでとても頼りになりました。

また長瀬さんの友達の紹介で予定になかった建物でしたが窯元を紹介してもらいました。雪国からの移築されたという太材の素敵な展示場での元気なおばあさんとの出会いもこの後の女性委員会の活動につながりました。

長瀬さん桂川さんにはこの後も追加調査で写真を撮りに行ってもらいました。地元しかわからないこともたくさん教えていただきちょっとした小旅行でした。



7月に入ってから飛騨地域の調査をしました。
飛騨は広く大塚さんには長距離運伝でお世話になりました。
高山の古い町並みでは高山の建物の特徴を大塚さんの解説を
伊藤さん、井之口さんと一緒に聞きながら歩きました。
夕方になり灯りがもれる中で雨あがりの町並みはしっとりして
いい雰囲気でした。



次の日午前中は井之口さんと飛騨古川の町並み散策。
午後から大雨となりましたがなんとか写真を撮ることができました。
また調査承諾のお返事がなく建物にたどりつくまでは不安な建物もチャイムを押すと高齢者の方出られて大切に使用している建物のお話を聞くことができ安心したことも思い出されます。

県との契約期限が近くなった頃、大野町の3件の建物の写真が不鮮明なことが判明しました。再度撮り直しです。地元の宇佐美さんや飯沼さんから場所をお聞きして一緒にお話しを聞いて写真をとらせてもらいました。とても一人では飛び込んでいけないところも地元の方がいると心強くよい調査ができました。

一連の調査の後も専門家の方から写真への希望などから何度も建物まで足を運び良い角度を選んで写真を撮りつつ建物の話をボランティアガイドの方から聞くことができました。町並みを守っているボランティアの方々の熱い思いを聞きながら高齢化等により活動を継続していくことの難しさも聞きました。

11月21日の景観シンポジウムでは、以前女性委員会でガイドをしてもらった赤坂宿の折戸さんもパネラーとして参加されていました。また長瀬さんたちと歩いて町並みの美しさに感動した中津川本町の町並みは偶然にも活動の発表をされました。
この事業を皆さんの協力で女性委員会の活動としてできたことに感謝申し上げます。
今後もこの経験をこれからの委員会活動に役立てていきたいと思えます。
一緒に回っていただいた皆様ありがとうございました。